

## ひとい木 開設ブログ⑥

# 法人内で「多職種交流会」を行いました

友愛会には、普段仕事で関わらない部署やスタッフと交流をする「多職種交流会」というものがあります。他部署の人や仕事、専門知識を知ることのできる機会です。開催する部署がテーマを決め、スタッフは自由に参加することができます。

オンラインも活用し、離れた拠点にいる人も気軽に参加できるようになりました。

9月は、開設準備室メンバーが「ひとい木」について知る「多職種交流会」を行いました。沢山のスタッフに知ってもらい、意見を聞こうと4回開催し、参加者は計35名になりました。介護に携わるスタッフ、医療従事者、事務員など職種は様々です。

会の始まりは、まずは自己紹介から。次にスライドを見ながら、「小規模多機能型居宅介護 ひとい木」について、詳しく説明します。

そして後半は意見交換をしていきます。

テーマは「こんな介護をしてもらいたい、こんな介護をしてあげたい」

利用者さんとの関わりから、親族の介護の経験から感じたことなど、色々な意見が出ました。

利用者さんの楽器発表をしたい・リハビリも兼ねてネイルやお化粧などをしてほしい  
介護が必要になっても犬の散歩に行きたい、好きな時間にお風呂に入りたい  
好きな所に行きたい、通うたびに元気になる施設・通うことがカッコいい施設にしたい

など、理想の介護は人それぞれであること、元気な時と変わらない生活ができることの大切さを考える意見交換となりました。



小規模多機能型居宅介護 ひとい木の詳細説明



意見交換のようす

4回の交流会を終えて、開設準備室の伊藤さんは、「柔軟にケアできる小多機(小規模多機能型居宅介護)だからこそ、みんなの意見をひとい木にも生かしていきたい。」また「交流会をきっかけに、さまざまな部署・スタッフが、携わる利用者さんに対して、小多機なら在宅で暮らせるのではないかな? という視点を持って貰えたら嬉しい」と語ってくれました。